

# 無病長生養生之法 天壽補元丹 来由

此脚末七妙二德阿々良左記

貝原先生

養生訓 四之卷 大要

貝原翁翁の篤前侯の儒官萬葉の

君よなり齋百余歳を保け

此藥ハ唐の醫仙壽百余歲を保け  
宗皇帝大醫院より今一為製  
たまひ天ふくハ締なる長命を保ら  
妃等は奉の妃を靈せさせ西川  
峯陽の西川氏漢人より製業の方を傳へ  
西川氏ハ



弘むる事去り  
生人ハ小天比法湯充実は運ハ何の痛牛生夷後エ氣血  
不充而向きハ明健運度を失ひ様の病をかう百般ニ變る  
とくども川業と服せハ患治せんとゆふ也如何とされ本の  
根ニ悟みを深ハよく盛長繁茂も如くい業人の根がたる  
其法元陽と補助もとて深く骨髓杜ニめぐら心の筋骨筋して  
脾胃と滋潤左肺金潤次肝木火土又儀よく調和すとよ  
了氣力勇社ニめぐら眼目明る也心事を夷ヌモ猶物をう  
脾胃を調和○食と進め○腰喫を治め○紀脈根もとによく  
汗と止発藥と解し○婦人經行不順○冷熱赤白帶下下血  
○小兒諸病○其外男女一切虚症を治まるより明る減るを  
めとぞ。

## ○功能

心氣を易使ひ人極年弱者にれり出一脊筋根

代く百有余の毒を保ち其子孫九十歳ニ至りんとまか  
勇社當時現存在方の秘方也精氣を養ひ忽ちに一  
如神乃聖劍手に十載の頃より心腎の虛にうへて病弱者  
塞一心大充並りより双耳重ヌより肺全痛ニ脾水分施渴  
一瘧疾ニ至り百針をまとも治せぬあ地及系帯有名の  
良医と尋ね診を講治を需先百般の業を般にといへども  
治を乞ひ旅の日と懶憚枯槁一唯一死と待のをすり  
此方を授り之法のごく千練ノく利剤一紙用毛毛に  
漫素難治の重病霜雪の朝日もひづふがごく寒消融  
腕ニ老年に及ぶべくとも三四十歳内時より氣力十倍  
身もどもニ勇社かくく繁榮不枯眼力鮮明皮膚  
光澤を生ト世間流行の風邪癰疾ふざも感冒せた  
こままで平と無き。是ニよろしく精神百倍乃人よあく  
誠まことに其効驗祚のことを以て普く漏内よ告げ

かうとく方より樹き心休停息する事なく睡臥せ爰多く肢  
於ち臚溢汗生夜えりて不得熟睡へ臘致駭脾心仲臘  
の下うり汗生物毎困倦し健忘に敗冷スハ嘗めが嫌き被  
初にも嘔吐たる聲病も麻疹の症又遠くに來を形也  
うど死も不治とのふるえ

脾胃虛乏食味もくは幼の食も傷又ハ總食」ても羸  
減病癪或ひつゝ後中使うて大便滑利等の症又  
用ひて治をりる神のあと

虚勞に諸業を用ひて功強えく日々瘦瘠るに業と用ひて  
功強えりゆめ、予多筆者人よあへ減るに不治と云ふ  
け某ゆく緩中と謂ゆく神妙たり是れを治へ  
秘結を治し泄泻ハ脾胃れせば大小便不利せざるより  
滑利たり秘結ハ脾胃通ハを運行失及則しを云う  
然まことに脾胃を潤すを遣不汲むく二便うちて

### 通氣多ゆゆす

一肩下血脱月と治すらゆゆ之里、棄血を温補する也、ちう  
一腎虚又ハ生變虛弱色暗動き安く湯引効弱く弱りれ安  
く肌膚光澤なく憔悴しよし、非業如燥脊字く小腹ん  
赤く又ハ白渴髮脱て無救あり壯年人よ白發多く健泊  
股へよこそ腰膝冷又ハ痛も夜えりて不得安所居るをせ  
翌日ハ急きに恍惚とまる等の症と見じて治すらゆ神のことを  
一法瘻の人よ用ひて壮人よちうとめなり、若老人虚人よりとも  
ニ又剥剥ひを壯年のことくにあひべー御主とも苦歎のむを  
凌ぐをもと一陽の勢強くるとても力又此靈劍を飛び  
害生して無病長壽と保ひべー

一痼疾ハ紅色まく筋立同つり胸膈脇塞緩急作志不定  
煩悶怒其外縫こ奇怪の症をあら辰へもて心肾虚  
なり失皮肝大なるよう生ずる病なりひ薬にて治すらゆめ

一腰痛の病、力弱氣強く痛むり、四肢筋あり、小腹脹張あるひと不食朝別れしと胸内満たし飲食無し、食す間もよく飢る心ありて後又力弱しに至るの症を治す  
ト、一腰痛聚を治する薬はあくまでけ葉かく、高元と温術をより下り運行不滞腰聚を自愈し消化して治する  
なり。世間の腰痛用ゆる者多く葉ありて之ゆゑより全  
く治まる所とぬぢり。

一腰痛に口食多時分がしにとて延々りりと腰痛を差しよる  
一症たり其とれは葉を服て、葉向陽をも陰血をなすら  
治まる所とぬぢり。

一症乳に温補不收より生ずる癌、すり百般と膚ももとべく

此業にく温補を主とは自然と氣血順りて治す

一症痛眩暈も連軒暈き耳鳴聾聞也下く而て腰

頭髮脱

上り聲うそく而て痒を本の癌をとく上物をもとを

清下治まる所と神のこと

一箇乃痛癩瘍の腫痛と机のむれ咽喉の腫舌と細辛と物生  
えハ乾燥する唇の腫と口の中一切の癌は蒸れて下部  
と温補を主とば奇妙と治す

清下治まる所と神のこと

一箇熱い冷温周身ニ拂ひて癌とある方と癌伏或ひ  
ハ涎沫を吐一物獨滿屈體脛股左右へ疼痛頗固に取

腰脊痛同眩暈暈停立者外其余身の消えどと百般の

癌とくみ用ひと治まること神のこと

清下治まる所と神のこと

一症嘔吐息を治する所と神あり、癌ハ氣血滞みりて癌と  
助り癌あり癌病と變る癌を治せんより止まて用ひて

氣血を温補すと運らせば又癩瘍もうけて癌と生まる所と

一症虚弱再々感冒し、清潔なる人よき獨り風寒と用ひ  
まば風邪も元えも葉にて攻撃すより一旦の發散をもるま  
にも再々此のぞくもれば元氣次第に廢して殊風邪感冒

子とちげく敵にきがゆれぬるやうれ人ニ用ひ一筋にて寝入  
まく風邪感冒にて止む祈めたり

風邪感冒止神妙

一風邪 痘瘍そくくき 因假治せざる事有ひて後もあらぬあり  
一族にて風邪を感冒し 且風寒雨湿等乃邪氣又感  
又ハ痰氣又傷り或も瘦冷えとあくびに因ひて後も昇  
水のうちには緩痛腰腰もむちと腰筋筋功あり腰筋  
のへへ弱く携へき業ぢう

一統まことに、おやを食ひきを

一統まことにえおみを食ひ人里もまことにあり懺て  
大よ勞へり附は葉と服まれば飢を遮き脾胃を換るよ  
すよく暑氣よ不傷す妙之驟行は然へて大よ蓋あり  
一毫も氣よ不倦無彼する人又ハ獨徳登した御ひて妙あり  
一葉中風へば葉あくら治を較中風はよりそハ葉あくら治ある  
ゆ出未れ病を除きとむれば葉をかく服用まればかく  
身難勤まくすり身を治せばとも僅多く天年を保つ

が一酒肉と好んで多く人の中に年よりは茶と毎月一劑  
で服を是バ一生中此の身をうごく  
一腹痛に肢體もえさ澤外側邊の不れども腹痛もまぐれ  
掌急痛をよくひき治をすすめ神のごと  
一打業易かず而れて是の一代痛きて癆瘍年をりて之を治

一 雜ふも着物を身に附れ  
一 脊腰七九の年より不快肩痺の状年人の様也中年  
已後ハ癪ニあらず基どい某月ヨ一剤ア被用毛髮を肩  
不寧脊の痛ニ邪氣之癪を生じタリ  
一小便通さう少數のことゆすれやくも用ひて治度  
一 滴病続陽小便頻数と治ることあり

皮膚の生ずる處に治す。次とあれば  
一筋癰瘍の表ある處の數を以て、溝に之を安置する所  
れども内と治せば、表を去り其位に外へ

きよば出世の意ハ一旦治一も當今へおきれども因之處と爲り  
一七年のあひに勞心あふめり配もるも事一陽氣一治  
一生堅固すゝ人もありとも生じよし一陽氣充實壯健乃  
く人にての人氣と不體用みもあらずきよとを凡ハ故毒殺と前  
半まこと體一體用是れ風邪と疫殺をも時は之素にて陽氣  
と同體い事もあらず此は其甲寒也一清元丹子と温補され  
て而寒狀ひゆくひよけり復生したるに毒氣一體再び發ひ  
體病は發だつてす

一駆打下國ハ陽之國整大  
て高浦走馬ハ青面王也

一既に下血ハ陽氣も甲斐なく下部不整固也へよりは事より  
て温補を主とバ奇妙又治れ  
一陰茎法囊の湿り瘻を止めハ婦人陰門の瘻を止め  
一鼻の肉の物の生え方を止め瘻とく咽の下首筋の瘻より  
般瘻生えきる瘻を止め瘻とく耳の瘻軟骨瘻を止め  
て首の邊の瘻ハ下部不整固にして其上ノ瘻逢上ノ瘻を止める此等

にそハ下部を温浦もろひより治る事多ナリ  
一ノ瘡候高深毒結毒目毒其余一切乃腫物候々療治  
しても治日も少此業ニ剝膜用ハ勧薦之へ従ひて則也れ  
ハ全般毛細管より因毛生バ罕々治<sup>ヒ</sup>農庵と號す  
一婦人ハ七日あき程行月ヨ一日二日又ハ一月二月滿て是が  
功候て大痛とちむる妄象モ血塊とて腋中玉塊生後ハ毎夜  
とりぬり又ハ常トにはく上部擦摩是ひへ耳鳴り血れ及向血赤血院  
門の脛屢々生る爲れ處は則ひく清毛もナサハの事のこと

○右田力の處ハ皆陽主是トモ血壁らざるより献血と  
なり點りゆ一の岸よりも川よ去れぬの痕とて次第に  
繕りて瘡血とありて此處病院記して之は毎日不愈比來  
を以て人命の根本とする生れ故元陽を補と云へる也よく  
めぐらしくあらざれば是の如き事

國語曰  
國之靈也

其間

三月と生ト

舊日治せざるゝ事下の國たりば某

を披すまゝハ國の事と及ひてあゆみ治に

婦人妊娠トニテ後月ニモ一刑ヲ用ひて産を安くト産後  
又乳之候ニキ乳汁多きシヒ或ハヨミキ婦人ニモやえ  
リを欲セバ一刑致セバ不白トニキ妊娠モヨミナリ

小兒虛弱にて肥満無も瘦弱色白トニキ食ニ味無くよく食  
いても腹裏止むに引ひて妙ちり未舌得ざり小兒年を母親  
又乳母に飲トヒベテ然神小兒ハ脂毒ありシのソ療瘡治  
癆瘡えと敷毛を詰めよ都て肉の陽氣に張出之發生もれ共  
筋ハ壯健ナリテ又を詰めよとれて治毛を詰めよ内へ押  
き入り之を処刑ハ其子は元まと攻撃を腸胃と挾ト陽毛脣  
吹けより走ヒと痛々實ト一期病も除キシハ某母詰乳母又  
吹け走り血がり乳汁清くナリ脂毒も吹拂も消化  
ト母子ともニ壮健ニ致ナリ

女子ハ別トニケ温熱の心薦けまハ不貞の少伐えアレハ某の  
徳ハ肾系を壯んユトニ却つて色情うとくをもす滅  
祚妙乃靈葉之げ澄ハ世間ニ除キテ後り有る人多くを  
精の浅き者多く男女人も子種もくつて是も亦骨毛  
不足乃人なり肾毛壯んある人ハ根よき情勃力のにあらず  
初年の時より毎年一刑ツル用ゆきハ壯年にあり温熱乃ル  
根又勁さるにありれを犯毛のちく挺女又近より自施  
ユト麻瘻毒乃患を免妻を求ひる時にハ骨毛あよ並  
にして又を生むる事よく然ヌ又殊長久の基  
眼目を向キシテ右外一切虚弱の人又用ひて措取乃病を治ト  
又教乞光沢を生ト髪を烏蘇トノ歯を碧く  
又園侍セエト延年長寿の神丹也

延壽堂鳥飼唐齋發起

大坂心齋橋南江三丁目東南角

本家調合所 法橋小田菊翁製之

江戸元賣弘所 本町三丁目伊勢屋枝助

同前

坂本所 淀草輪形河岸

泉屋德兵衛

同賣弘取次所

本郷三丁目角

兼康祐悅

同賣弘取次所

麿町三丁目大横

養濃屋常八

同賣弘取次所

芝口三丁目西側

伊勢屋吉左衛門

同賣弘取次所

品川木宿三丁目

伊勢屋儀右衛門

壹劑入金貳朱半劑入金壹朱半劑入銀貳錢百銅